

# 犬の飼い方・つきあい方



## 壱岐はいまだに野犬が多い島

- ☑ 壱岐市には野犬が多く生息し、そのため、保健所に收容される野犬(子犬を含む)が非常に多く、毎年、200頭以上の犬が殺処分されています。これは、県全体の60%以上を占めている状況です。
- ☑ 野犬が農地を荒らす、群れとなって威嚇するなどの被害が出ています。また、狂犬病ウイルスが入ってきた場合、野犬を介して島中にまんえんするおそれがあります。
- ☑ 将来的に殺処分を減らしていくためにも、今いる野犬を捕獲することが重要ですが、警戒心が強いため捕獲器に入らず、捕獲が難しくなっています。

## どうして野犬が減らないの？

- ☑ 狂犬病予防法や市の条例により野犬の捕獲を実施していますが、野良猫や外飼いの猫が入ることが多く、捕獲の妨げとなっています。猫は室内で飼いましょう(裏面参照)。
- ☑ また、野犬にエサをあげている人がいることも大きな問題です。栄養状態が良くなり、子を産んで増えていきます。無責任なエサやりは犬のためになっていません。不幸な犬を増やし続けています。
- ☑ 外で飼っている犬や猫のエサを野犬が食べているケースもあります。飼い犬・猫のエサ、生ごみなどを屋外に放置しないようにしましょう。



子犬を見つけたらすぐに連絡！  
小さいうちは捕まえやすく、慣れやすいので譲渡できます

## 犬の飼い主の責任とは？

- ☑ 犬を飼ったときは、かならず市役所で登録をしてください。そして年に1回、狂犬病の予防注射を受けなくてははいけません。
- ☑ 飼い主にはペットを最後まで飼う責任があります。10年後、20年後のライフスタイルを想像してみてください。そのときも、飼い続けられますか？

吠えてうるさいから

子犬産んだけどもらい手いない

引っ越すから

なつかないから

死んだじいちゃんの犬だから

拾ってきた子どもが島外に行ったから

人を咬んだから

保健所にはさまざまな引き取り相談が寄せられますが、原則すべてお断りしています

# 猫の飼い方・つきあい方



## 猫の苦情ふえてます！

- ❑ 市役所や保健所には猫に関する被害や苦情が寄せられています。糞尿、鳴き声、家に入り込む、ノミの発生、子猫を産んでいるなどです。
- ❑ 猫の場合、犬と違って市役所や保健所が捕獲することはできません。また、飼い猫・野良猫の引き取りは原則実施していません、しかし、所有者のいない産まれたばかりの子猫などの場合、保健所に持ち込まれた猫を引き取ることがあります。そのときは、ほぼすべてが殺処分されることとなります。

## 猫の交通事故死（ロードキル）は年間約29万匹！！

- ❑ ある調査によると、交通事故などで路上で死んでいた猫の数は、全国でおよそ29万匹（2019年）と推定されています。これは、その年に保健所等で殺処分された数の10倍以上になります。
- ❑ 外でのんびり昼寝している猫を見たとき、どう思いますか？癒される？自由でうらやましい？現実には、その陰で本当にたくさんの猫が死んでいます。ある猫は産まれてすぐにカラスや野犬に食べられ、ある猫は車に轢かれ、ある猫は保健所に持ち込まれ、猫同士のケンカで、病気で、飢えて…

## 長崎県動物愛護条例が施行されます

- ❑ 令和5年4月に、長崎県動物愛護条例が施行されます。飼い主のいない猫への給餌制限や多頭飼育の届出などが定められました。
- ❑ 不妊去勢手術や糞尿の処理、地域の同意を伴わないエサやりは、条例により禁止されます。
- ❑ 野良猫に不妊化手術を施し、一代限りの「地域猫」として地域で保護する取り組みに県から手術費用を助成しています。詳しくは保健所までお問合せください。  
※必ず、地域（公民館など地区の代表）の同意を必要とします

## 人と猫が共に生きていく社会のためお願いしたいこと

- ❑ 猫は外で飼うことが当たり前、という感覚の人もまだいるのかもしれませんが、猫はぜひ室内で飼うようにしてください。高さをつけた環境を整えてあげることで、室内でもストレスなく過ごせるといわれています。外に出すことは猫にとってもリスクのあることです。大切な猫を守るためにも家に入れましょう！
- ❑ 不妊化手術をしましょう。室内飼いだから、と手術をしていなかった猫が一瞬目を離れたすきに外に出て、その後出産したというケースもあります。不妊化手術により、病気の予防にもなり、繁殖にともなう問題行動もおさえられます。